

次世代交通ビジョンおきなわ

【第4回 有識者会議】

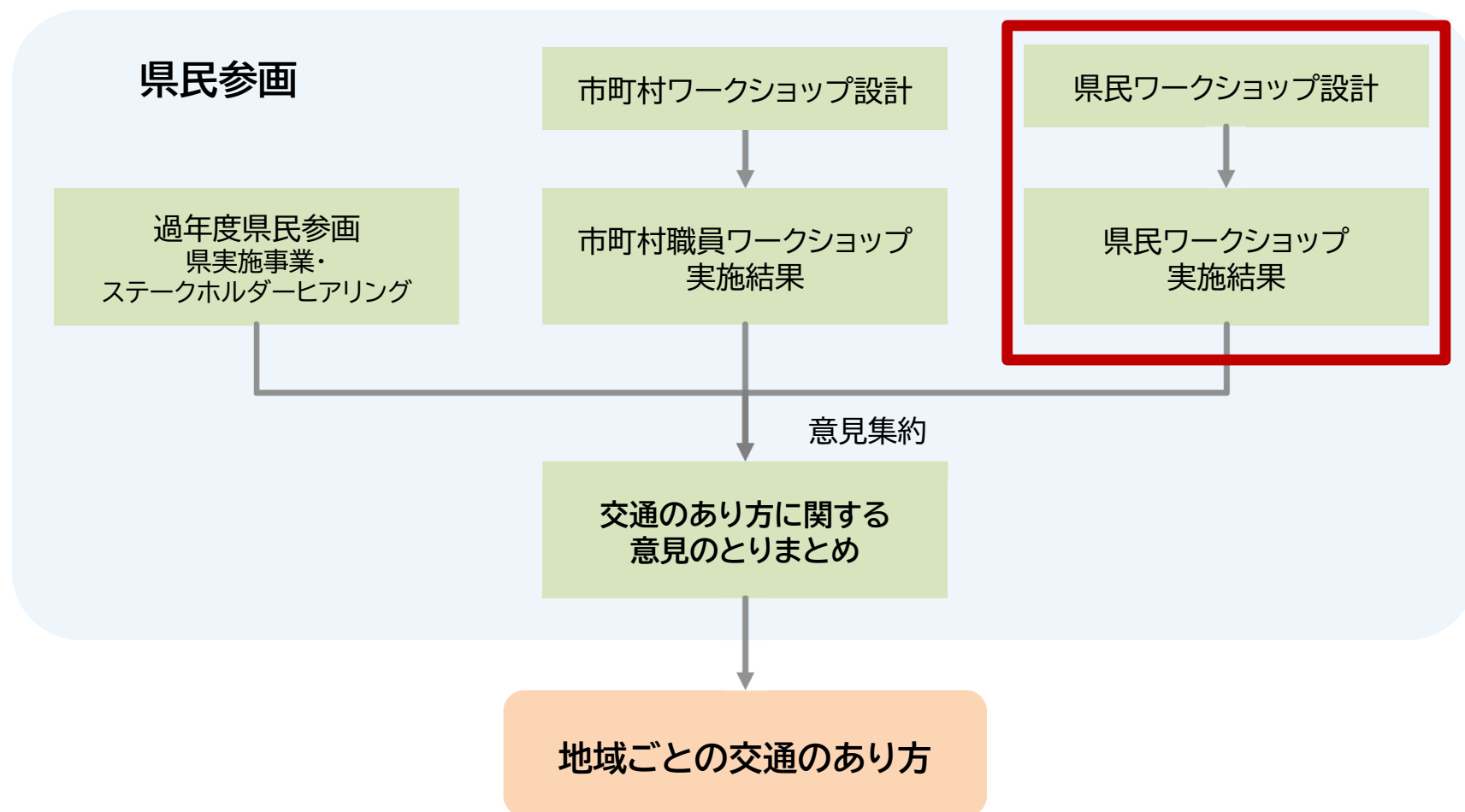
～ 県民ワークショップ 実施方針～

1. ステップ2の県民参画とアウトプットの関係性
2. 県民ワークショップの概要
3. ワークショップの進め方

令和8年7月10日
沖縄県 交通戦略推進課

1.ステップ2の県民参画とアウトプットの関係性（再掲）

- ステップ2のアウトプットである「地域ごとの交通のあり方」は、市町村職員ワークショップ、県民ワークショップ及び他の取組で聴取した県民意見を集約した「交通のあり方に関する意見のとりまとめ」を踏まえて検討を行う。



- 地域ごとの交通のあり方について、**多様な属性・立場の県民と意見を交わしながら検討を深めることを目的**とし、県民ワークショップを**7月25日（土）**に実施する。
- 実施にあたり、**6月11日の知事定例記者会見で周知**を行い、**県のHPやSNS等を用いて広く公募**を行った。
- また、高齢者を支援する方々やひとり親世帯を支援する団体、観光事業者など、個別に声掛けを行った。

2026夏・秋

次世代交通ビジョンおきなわ

沖縄県

県民ワークショップ開催

ひととまちをつなぐ、次世代交通を考える。

～交通が変われば、まちが変わる～

沖縄県では、将来に向けた沖縄の新しい交通のあり方を描くため、「次世代交通ビジョンおきなわ」の検討に着手しています。

交通ビジョンを描くため、「県民ワークショップの参加者」を募集します

令和8年7月7日まで受付中！

ワークショップ①（地域ごとの交通のあり方）

開催日時:令和8年7月25日(土) 10～13時 または 14～17時

開催場所:沖縄県立図書館3階ホール(那覇市泉崎1-20-1)

参加条件:ワークショップ①と②の両方に参加できる方

募集人数:40名程度 参加決定者には改めてご連絡します

ただし、参加希望者多数の場合は、所在地、勤務地、年齢などを考慮し、事務局において選定します。また、ワークショップは、議論を深めるため、北部・中部・那覇周辺・南部の4グループに分けて開催します。

ワークショップ②（地域ごとの取組の方向性）

開催日時:令和8年10月3日(土) 10～13時 または 14～17時

4日(日) 10～13時 または 14～17時

開催場所:沖縄県立図書館3階ホール

参加条件:ワークショップ①の参加者

オープンハウス、WEBアンケートも実施予定です

皆さんのご意見やお考えをお聞かせください！

県民ワークショップ開催案内チラシ



令和8年6月11日 知事定例記者会見

【参加申込期間】

令和8年6月11日(木)～7月7日(火)

【参加申込者数】

36名 (うち女性12名)

(年齢別内訳)

10代 1名 20代 6名

30代 7名 40代 10名

50代 6名 60代 6名



わったーバス党ホームページでの募集案内

【参加者の属性】

職業	男性	女性	計
福祉・子育て・教育関係者	2	3	5
公務員	5	1	6
観光関係者	4	2	6
交通関係者	2	0	2
自営業	1	0	1
その他	7	5	12
高校生・学生	2	0	2
無職	1	1	2
	24	12	36

2. 県民ワークショップの概要 実施方針

- 県民ワークショップは、参加者の立場と与えられたペルソナの立場から、移動に関する意見を集約して望ましい交通のあり方を議論することで、多様な立場を反映した望ましい交通のあり方を取りまとめることを目的として設計した。

趣旨

地域に望ましい交通のあり方について、市町村WSで集約した意見に加え、様々な県民の立場が抱える事情や考えに基づく意見を集約し、深掘りする。

進め方の概要

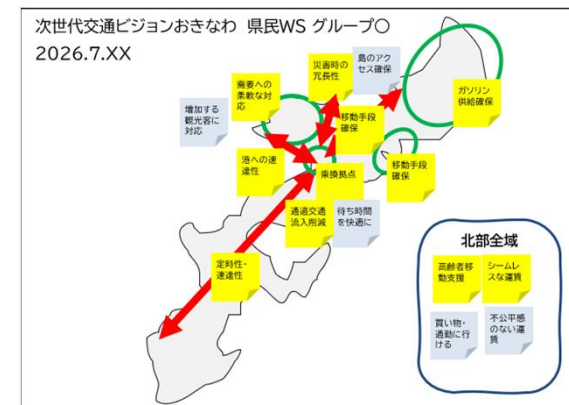
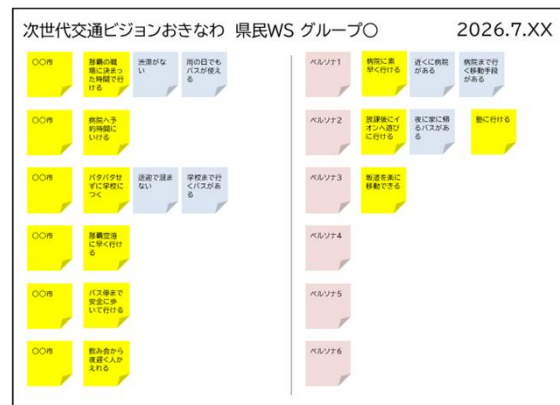
- 北部・中部・那覇周辺・南部ごとに、4～5名程度の班を組成する。
- 班ごとに、参加者の立場と、与えられたペルソナの立場から、望ましい移動のあり方を考えて共有する。その後、その移動を実現するための交通のあり方を議論する。

質問事項

- ① 生活の中でどこかに行くときに、「もっとこうやって移動ができればと思うこと」を教えてください。
- ② ①で考えた移動を実現するためには、どこにどのような交通があることが望ましいと考えますか、教えてください。

アウトプットの概要

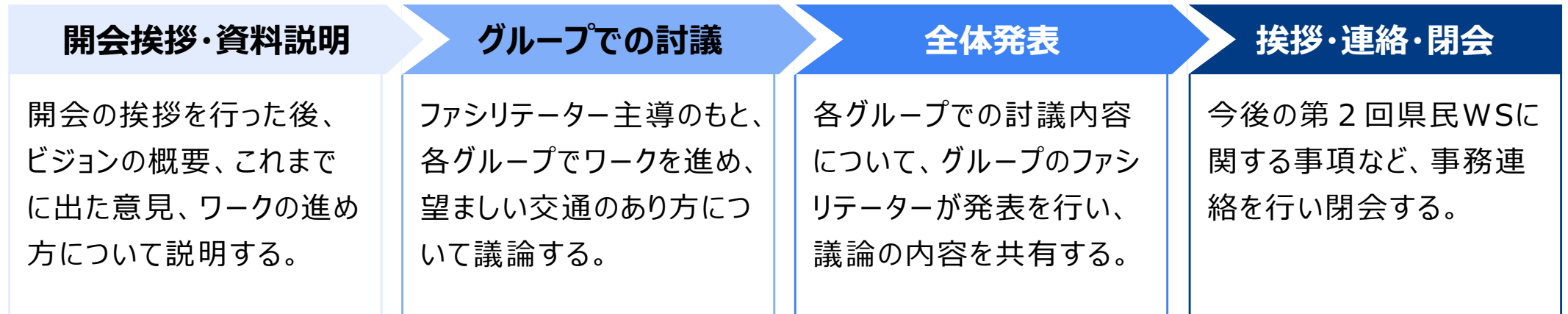
- 望ましい移動のありかたがまとめられた模造紙
- 地域に望ましい交通のあり方やその理由が記入された白地図



2. 県民ワークショップの概要 全体の流れと説明資料

- ワークショップの進行にあたっては、**最初に資料を説明して参加者に対して議論に必要な情報のインプットを行い、その後グループでの討議に移行する。討議後は、各グループのファシリテーターから討議の内容について発表することで、参加者全員が討議で出た意見を共有する。**
- 当日は、ビジョンの概要、現状の交通、これまで寄せられた意見、ワークショップの進め方の4種類の資料を説明する。

【全体の流れ】



【当日説明資料】 ※その他、机上に参考資料として白地図やバスマップを手配する予定

資料番号	資料名	資料の内容
資料1	ビジョンの概要とWSの位置づけ	次世代交通ビジョンおきなわの策定に向けた検討の進め方と、今回の県民ワークショップの位置づけ
資料2	沖縄の交通の現状・課題	PTなど各種データに基づく、沖縄における交通の現状や直面している課題
資料3	これまでに寄せられた意見	沖縄の交通に関して、これまでの県民参画などで寄せられた意見の概要
資料4	県民ワークショップの進め方	本県民ワークショップのテーマ、ワークの概要と具体的な進め方について

3. ワークショップの進め方 全体の流れ

- 検討テーマである「地域に望ましい交通のあり方」を取りまとめるため、班ごとにファシリテーターが議論を進行し、ワーク0からワーク2までの段取りでワークショップを進める。

ワーク0 (15分)	ワーク1 (45分)	ワーク2 (25分)
自己紹介 ● <u>参加者の属性や立場、交通に感じていること</u>について共有していただく ● <u>参加者各自の属性や日常的に訪れる場所については、白地図や模造紙に記述</u>して後段のワークに活用する	生活シーンに応じた理想とする移動のありかたを議論する ● <u>生活のなかで移動するにあたり、理想とする移動のありかた</u>について議論する ● <u>後半では参加者毎にペルソナを設定し、他の人の立場で理想とする移動のありかた</u>についても議論する	理想とする移動のありかたを実現する交通NWを描く ● ワーク1の成果を踏まえて、<u>どこにどんな交通があればよいか</u>について議論する ● 白地図上を活用し、記入しながら議論を進めることで、<u>地域に望ましい交通のあり方を具体的に可視化</u>する
【問いかけの例】 自己紹介として、年齢、ご職業や、普段訪れる場所などを教えてください	普段の生活の中で / 設定されたペルソナの生活を想像して、「もっとこうやって移動ができればと思うこと」を教えてください	ワーク1で出た移動を実現するには、どこにどのような交通があればいいと思うかを教えてください

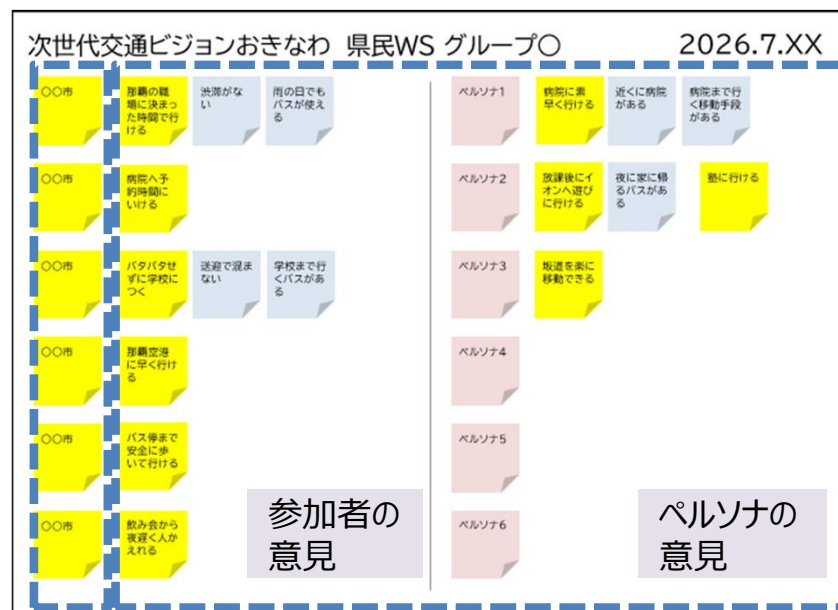
3. ワークショップの進め方 ワーク0の流れ

- ワーク0では、参加者間で自己紹介を行い、**各自の属性や立場、普段の生活でよく訪れている場所や交通に関して考えていることなどを発表**する。
- ファシリテーターが発表内容を付箋に書き下し、ワーク1で使用する模造紙に付箋を貼り付ける。
- 自己紹介の内容について、適宜白地図に書きこむなど、参加者の視点でワークが単調にならないようにする。

ワーク0

自己紹介 (15分)

- 参加者の立場（住んでいるエリア、日常で訪れる場所）を各々発表頂く
- 発表内容を聞き取り、ファシリで付箋に書き込んで模造紙に貼り付け
- 日常で訪れる場所については、白地図にシールを貼り付ける



ワーク0で記載

ワーク1で記載

- # ワーク 1
- ## ①

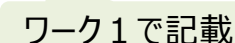
- 普段の生活で感じる、「理想的な移動」を付箋に記入してもらう
- 交互に付箋の内容を記入し、議論の中で理由やどんな交通なのかについて深掘りを行う

ワーク1

②

- それぞれが設定されたペルソナの立場になったときの、「理想的な移動」を付箋に記入してもらう
- ①と同様に発表し、深掘りする

※ペルソナの詳細設定は、グループの参加者に応じてファシリテーターにて決定する。



3. ワークショップの進め方 ワーク2の流れ

- ワーク2では、「ワーク1で考えた移動を実現するためには、どこにどのような交通があることが望ましいと考えますか、教えてください」と問いかけ、**どこにどのような交通があればよいか**を考えてもらい、付箋に記入していただく。
- 各自の記載内容を発表し、白地図に貼り付ける。ファシリテーターから質疑を投げかけて深掘りを行い、エリアや区間など情報を白地図へ加筆し、具体的に交通のあり方について議論する。(ネットワーク図を含む)

ワーク2

地域に望ましい 交通のあり方 (25分)

- ワーク1の模造紙を見ながら、どこにどんな交通があればよいかを考え、付箋に書いていただく
- 付箋の内容を発表し、ファシリテーターが中心となって質疑を実施し、どのような交通が欲しいのか、その理由はなにかを深掘りする
- 用意した白地図に発表した付箋を貼り付け、分かりやすいように色使いや太さを工夫してペンで加筆し、白地図上で意見を可視化する

